

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 11 月 5 日（水）
地区 中島小学校区
会場 中島小学校 1 階ワークスペース
参加者数 33 人



《質問・意見》

先日、都市計画公園の見直し案が出されたが、宮川中学校に隣接する清水公園は、現在も未供用で運動場沿い南側の山は荒廃している。教育環境を改善する観点から、生徒が安心して授業やクラブ活動等ができるよう、市で積極的に整備をお願いしたい。また、東側バックネット裏の崖、岩が露呈している部分も危険な状態で、このことは学校長も認識しており、整備を望む。これらの内容については、都市計画の手続きの中で意見を出しているところである。

《回答》【市長】

市では現在、長年未供用となっている都市計画公園を現状に即した形で見直しを行う手続きを進めているところです。

《回答》【都市整備部長】

手続きに基づき意見が出されていることは承知しています。清水公園は上水道の配水池があり、周辺に遊歩道も整備されています。今後も地元の方々と相談、協議しながら遊歩道等の整備と合わせて、指摘いただいた箇所の改善を進めていきたいと考えています。

《質問・意見》

小水力発電の提案について、昨年に中島学区まちづくり協議会にも提案書を出させていただいた。水力発電量からの試算では月 540 万円程度の売電収入が見込まれ、これを原資に自立したまちづくりをしていきたいと考えている。例えば、まちの美化、無電柱化等の環境美化に関する事。市民センターを建設して防災拠点とする、起業支援として「鮎のなれ寿司」の復活等、まちの特産品を販売・PRする施設とするなど、施設整備に関する事。これら事業をまちおこしの起爆剤としたい。

《回答》【市長】

以前いただいた提案資料は大切に残してあります。「鮎のなれ寿司」のことは、観光資

源となり得る郷土料理として、大切に継承していけたら良いと思います。今後、いろんな場面でこれらの話も聞かせていただき、検討していきたいので、一案として預からせていただきたい。

《質問・意見》

三郷山の獣害対策について、昨今、猪や猿が頻繁に出没して困っている。何とか対策を打ってほしい。

宮川の河川敷で度会橋下流に中州がたくさん出来ている。洪水時の災害が懸念される。

小学生の登下校時、昨年までは高学年の児童が低学年の児童を連れて歩いているのを見かけたが、現在は見る事が無くなった。防犯や事故防止の観点からも良い慣習だと思っているので、どういう理由で無くなったのか知りたい。

《回答》【市長】

猪、猿の獣害対策については、三郷山を含む外宮周辺全域の課題となっていますので、全体での取り組み方法を検討していきたいと思います。宮川河川敷中州の状況の件、中島小学校通学の見守りの件は、現場を確認して対処方法などを検討します。

《質問・意見》

伊勢市の将来について、就職先が少ない等の理由で、若者が伊勢市に戻ってこない状況がある。観光産業だけでは若者の雇用は創出できないと思う。このことは、人口減少問題と合わせてどう取り組むかという問題と密接に関係すると思われる。

いじめ問題について、伊勢市では幸いに大きな事件は起きていないが、起こってからでは遅いので、学校、保護者、教育委員会が連携した万全の対策を取ってほしい。

《回答》【市長】

少子化対策については、本市も5年前から取組を進めています。人口推計では、2030年に約15%の人口減、約38%の高齢化率となります。その上で新病院建設や学校統廃合等、公共サービスの在り方を考えています。出生率が回復したフランス、イギリス等先進国の研究も進めています。企業にはフレックスタイム制や在宅雇用等、働き方についても検討をお願いしています。

いじめについて、5年前には学校が荒れた時期もありましたが、今、学校では子どもたちの人間関係を可視化できるツールを導入して対策を進めています。事件が起きる度、事務仕事など先生に掛かる負担が大きくなって、逆に子どもたちと関わる時間が少なくなっています。今後は、先生のこうした負担をなるべく軽減して、子どもと接する時間を作っていきたい。このことは学力の向上にも繋がると期待しています。地域の皆様には、見守り活動に支援いただきたい。

《質問・意見》

避難所の見直しが行われたが、この地域で、中島小学校だけでは心許ないと感じているので、もっと身近な民間の建物も避難所とできるよう検討してほしい。

市の税金、団体への補助金等は、きちんと精査して有意義に使ってほしい。

《回答》【市長】

避難所の件は危機管理課に申し伝えます。

補助金等も適正に執行していきたい。

《質問・意見》

学校の統廃合に伴い廃校となる学校跡地の活用について、沼木中学校が廃校になった跡地は、ユースホテル等の観光誘客施設への利用を図ってはどうか。早修小学校もいずれ廃校となるが、まだ新しいので宿泊施設として活用できるのではないか。

《回答》【市長】

廃校となる学校の跡地については、これから検討していくもので、地域の防災施設や学童保育の場など、地域の実情に即したものにしていきたいと考えています。大紀町では旧校舎を温泉施設として活用している事例もあるので、先進地も研究しながら検討を進めていきたいと思います。

《質問・意見》

学校統廃合の進捗について聞きたい。

跡地活用の提案として、運動場は地域に開放してはどうか。そこで市民農園などを整備してはどうか。

《回答》【市長】

現在、第一期の7組の小中学校について統合を進めています。まず、地震津波対策として沿岸部の小規模校について優先的に取り組んでいます。一つの区切りとして、平成32年度を目標に整備を進めていますが、これは財政面から合併特例債の期限を視野に入れているものです。廃校となる学校の跡地については、市民の皆さんからもいろんな提案もいただいて、地域の実情も踏まえた形で整備を進めていきたいと考えています。